



トークシリーズ『0場(ゼロバ)』 今年は11月・12月に4夜開催！

P R E S S R E L A S E

芸術祭や芸術作品と社会との関係について語りあうトークシリーズ『0場(ゼロバ)』
第1夜に島原万丈氏、中井美穂氏、宮城聡氏が登壇！テーマは「寛容社会」

東京芸術祭2017はトークシリーズ『0場(ゼロバ)』を11月・12月に計4夜開催することとなりました。昨年も好評を博した『0場』はアート界に限らず様々な分野の最先端で活躍する人々が、多様な視点から語り合うトークシリーズです。舞台芸術の公演では「幕」や「場」という言葉を使って場面の区切りを表しますが、「0場」とは舞台の幕が上がる前の状態を指す言葉です。このトークイベントは、芸術祭や芸術作品と社会との関係について自由に語り合う前庭的な「広場」を目指して開催されます。

トークシリーズ『0場』開催概要

■日時

・第1夜：11月17日(金) ・第2夜：11月27日(月) ・第3夜：12月5日(火) ・第4夜12月8日(金)
全日程19:00開始 (受付開始・開場18:30)

■第1夜 [11月17日(金)] テーマ：寛容社会

近年、社会におけるダイバーシティを推進する流れができてい一方、少数派や異なる価値観を排除しようとする不寛容さも明るみに出て来ている日本。はたして、この国際都市を目指す東京において、芸術祭やパフォーミングアーツはどのように寛容な社会づくりに貢献できるのでしょうか？

調査レポート『寛容社会 多文化共生のために<住>ができること』を発刊し、外国人にも優しい寛容な社会のあり方を住まいや街づくりという新しい視点からまとめたLIFULL HOME'S総研所長の島原万丈と、大の舞台好きとして知られ、昨年の東京芸術祭においても注目作品紹介の案内役やオープニングセレモニーの司会を務めた中井美穂、そして社会の「分断」を芸術は、いかにつなぐことができるかという視点で芸術祭の可能性を模索し、東京芸術祭の総合ディレクターである宮城聡が芸術祭を楽しむ側の視点に立ち、「寛容社会」をテーマにトークを繰り広げます。

・登壇者

島原万丈 (株式会社LIFULL LIFULL HOME'S総研 所長)

中井美穂 (アナウンサー)

宮城 聡 (演出家、東京芸術祭総合ディレクター、SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督)
(五十音順)

・会場：フォルテ・オクターヴハウス (住所：東京都豊島区南池袋1-26-9 第2M.Y.T.ビル8階)

■第2夜 [11月27日(月)] テーマ：テクノロジーとパフォーミングアーツ vol.2

昨年の『0場』「テクノロジーとパフォーミングアーツ」では、「菌」と舞台芸術や表現の関わり、その可能性についてのトークが行われました。今年は、第二弾として様々な分野で注目を集める『発酵』をテーマに様々な立場の3名によるトークを展開します。

『発酵文化人類学』の著者で発酵醸造学に傾倒する発酵デザイナー小倉ヒラク、自身が発酵させた乳酸菌で作ったヨーグルトを観客に配ったことで話題となった舞台作品『空気と屁』振付の振子びじん、そしてバイオ研究のコミュニティ「バイオクラブ」を立ち上げバイオと文化の関係性に強い関心を抱く林千晶が、農業や医療だけでなく、都市や芸術文化との関わりにも注目され始めている「発酵」の可能性について語り合います。

・登壇者

小倉ヒラク (発酵デザイナー)

振子びじん (ダンサー)

林 千晶 (株式会社ロフトワーク代表取締役、MITメディアラボ所長補佐) (五十音順)

・会場：自由学園明日館 (住所：東京都豊島区西池袋2-31-3)

■第3夜 [12月5日(火)] テーマ：社会と舞台芸術 vol.1

日本におけるドラマトウルクの草分けとして活躍し、多くの劇場外で行われる作品に携わってきた長島確、コミュニティに根差したアートプロジェクトを企画・制作している石神夏希、SPAC-静岡県舞台芸術センターで学芸部員も務める社会学者の大澤真幸を招き、トークを展開します。舞台芸術が劇場の外に出るというだけではなく、外に出る意味や思想などを改めて問うことで、再発見が生まれる場を目指します。

・登壇者

石神夏希（劇作家）
大澤真幸（社会学者）
長島 確（ドラマトウルク）（五十音順）

・会場：丸善 池袋店2階（住所：東京都豊島区南池袋2-25-5 藤久ビル東5号館）

■第4夜 [12月8日(金)] テーマ：社会と舞台芸術 vol.2

海外演目招聘やアジア国間の交流事業を多く務める横山義志と、アジアのアーティストとも多数の共同制作作品を作り出してきた多田淳之介、アジアを中心に世界中の様々な舞台芸術のプロフェッショナルと交流のある丸岡ひろみ、さらに国内外の舞台芸術事情に精通している太下義之によるトーク。アジアの中の“東京”における国際芸術祭のフレームワークを改めて考え、さらなる発展のために議論を繰り広げます。

・登壇者

太下義之（三菱UFリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター主席研究員）
多田淳之介（演出家、東京デスロック主宰）
丸岡ひろみ（国際舞台芸術交流センター（PARC）理事長、
国際舞台芸術ミーティングin 横浜（TPAM）ディレクター）
横山義志（SPAC-静岡県舞台芸術センター文芸部）（五十音順）

・会場：丸善 池袋店2階（住所：東京都豊島区南池袋2-25-5 藤久ビル東5号館）

■ご予約方法

11月3日(金・祝)10:00よりPeatixにて予約を受け付けます。

<http://tokyo-festival.peatix.com>

東京芸術祭とは

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭です。東京の芸術文化の魅力を知り易く見せると同時に東京における芸術文化の創造力を高めることを目指しています。中長期的には社会課題の解決や人づくり、都市づくり、そしてグローバル化への対応を視野にいれて取り組んでいきます。

開催概要

名称：東京芸術祭2017（英称：Tokyo Festival 2017）

会期：2017（平成29）年9月22日（金）～12月4日（月）74日間

参加事業：フェスティバル/トーキョー17、芸劇オータムセレクション、

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、APAF-アジア舞台芸術人材育成部門

主催：東京芸術祭組織委員会

【アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、アジア舞台芸術祭実行委員会】

※内容は都合により変更になる場合がございます。



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre



公益財団法人
としま未来文化財団



●貴媒体でのご紹介・取材をご検討くださいますようお願い申し上げます。

<東京芸術祭に関するお問合せ>

東京芸術祭組織委員会事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1 国立能楽堂内 公益社団法人国際演劇協会日本センター気付

TEL：03-6388-0119 FAX：03-3478-7218 E-mail：info@tokyo-festival.jp